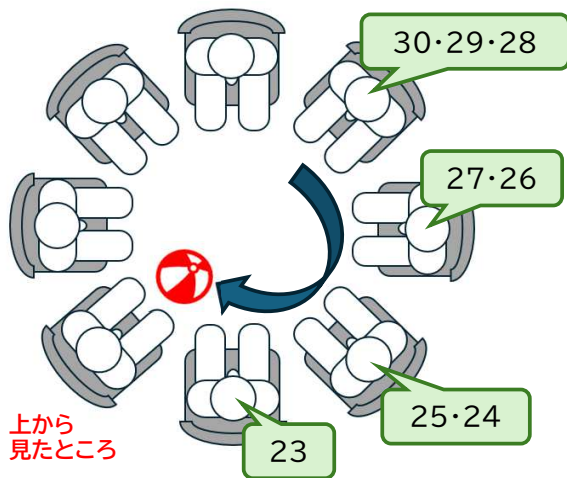


カウントダウン30

【 記憶力 】
難易度 ★★☆☆
楽しさ 😊😊😊



【 概要 】

- ・みんなで数を数えながら、自分が30番目にならない様を考える
- ・前の人と言った数字を覚えて、自分の番で続きの数字を何個(1～3個)数えるか考えて言う。
- ・計画力も鍛えます

準備

- ・ 5～8人ごとに、輪になって座る
- ・ ボールや風船など、隣に手渡ししやすい物を1つ準備する

方法

- ① みんなで数を数えながら、左隣りの方へボールを回す(練習1)
1人目＝「1」と言ってボールを左隣りへ渡す
2人目＝続きの「2」と言って、更に左へ渡す
3人目＝続きの「3」と言って、更に左へ渡す …これを1周だけ練習
- ② 数える数字は1個ではなく、1～3個を選んで数えることを説明する
例)1人目が「1・2・3」と数えた場合⇒2人目は続きの「4」から
1個「4」か、2個「4・5」か、3個「4・5・6」数えて良い
- ③ ボールを「30秒で爆発する爆弾」に見立て、ボールを廻してみる(練習2)
各自の順番で、数字を1～3个数えながらボールを左隣りへ渡し、
みんなで「30」までボールを廻す。「30」を言う順番になった人が負け。
- ④ 「カウントダウン30」の本番では、数字を1～30まで数えるのではなく、
30から、29、28と数を減らしていき、「ゼロ」という順番になった人が
負けとなるカウントダウン方式で行う。

チャレンジプログラム

参加人数を減らすと、直ぐに自分の順番が来るため、「ゼロ」と言わずに済むように考える回数が増え、脳への刺激が増えます。
少人数(3～4人)で行うと、計画性を多く使うプログラムになります。



【 簡単にする方法 】

★★☆☆ カウントダウンせずに、30まで数字が増える方法(練習2)で行う

【 難しくする方法 】

★★★ 数字「10」「20」を数える時だけ、ボールを左隣りではなく、好きな人へ渡して良いルールを追加する。参加人数が多い場合には、「30」ではなく「50」からカウントダウンを始める